

ノーリツ、 国内の「健康な森を育てる」ことで 加古川工場を中心に、CO₂を年間700t オフセット

～ 間伐材でコースターを製作 ～

湯まわり設備メーカーの㈱ノーリツ(本社:神戸市、代表取締役社長:國井総一郎、資本金:201億円、東/大証一部上場)は、環境への貢献の一環として、太陽光発電システムを製造している加古川工場を中心とした自社生産工場で、カーボンオフセットの一手法である「森林カーボンオフセットサービス」を4月1日から導入、年間700tのCO₂をオフセットする「地球の笑顔～森林育成～プロジェクト」をご紹介します。

◆兵庫県朝来市の森林で「^{かんぼう}間伐促進型プロジェクト」を推進

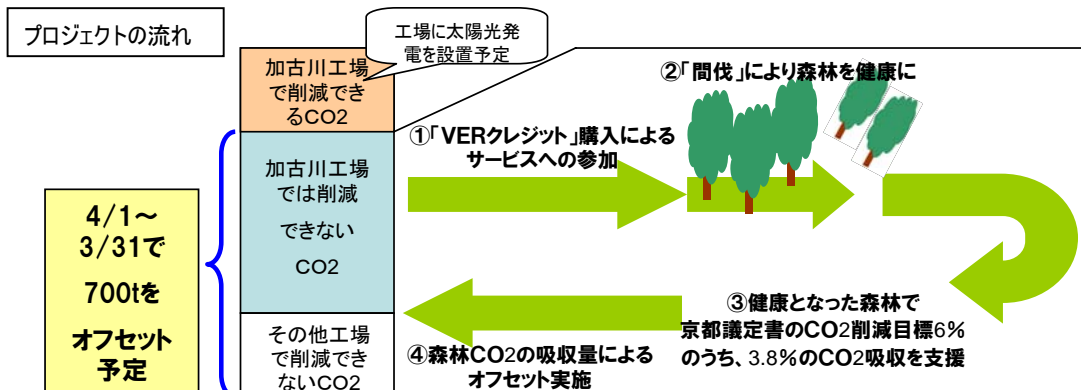
「森林カーボンオフセットサービス」は、株式会社日本オフセットデザイン創研が兵庫県森林組合連合会とともに提供しています。

ノーリツは「森林カーボンオフセットサービス」を活用して、兵庫県朝来市の間伐などの森林整備を支援します。加古川工場を中心に自社生産工場から排出されるCO₂を、年間で700t オフセットする予定で、兵庫県内の製造業では初となります。加古川工場では今後、CO₂ 排出量をさらに減らせるよう、工場自体に太陽光発電を設置することも予定しています。



兵庫県朝来市の森林整備支援に参加

他の森林環境保全事業との違いは、企業が地域の森林整備に協力しながら該当する森林のCO₂ 吸収量を活用して自社のCO₂ 削減も可能とする点です。この仕組みは、一企業が一定地域の森林整備費用を全て負担するものではないため、定量的なCO₂ 削減を目指すさまざま企業が広く参加できます。最終的に「京都議定書」のCO₂ 削減目標6%のうち「森林による吸収(3.8%)」に貢献することを目指します。また当社は、森林生育に必要な間伐の理解を深めるために兵庫県内の森林整備により搬出されたヒノキの間伐材で「ひのきのコースター」を制作、配布しています。



※加古川工場では2011年度、500tのCO₂ 排出見込(5月現在推計値)。

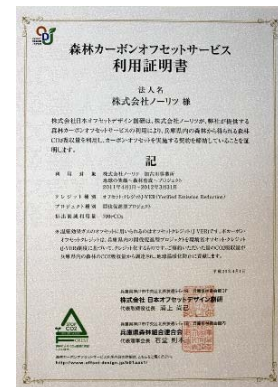
◆「森林カーボン・オフセットサービス」とは

森林には CO₂(二酸化炭素)の吸収・様々な生物への生育環境の提供・川に流れ込む水の量の安定化・水の浄化など、さまざまな環境保全に有効な機能があります。しかし現在、日本の林業は木材価格の低下などによる木材の自給率の低下、山村の過疎化による林業従事者の高齢化などにより、森林組合も含めて、きわめて厳しい経営環境に置かれています。

「森林カーボン・オフセットサービス」は、環境省オフセットクレジット制度 J-VER の枠組みで森林が吸収する CO₂ 排出枠を、企業がカーボンオフセットのために拠出した資金で該地域の森林整備に活用する仕組みです。兵庫県内の製造業としてノーリツが初の導入となります。

◆ノーリツの「地球の笑顔～森林育成～プロジェクト」

- ・プロジェクト名称:株式会社ノーリツ 加古川事業所 地球の笑顔～森林育成～プロジェクト
- ・実施期間 :2011年4月1日～2012年3月31日
- ・クレジット種別 :J-VER(Verified Emission Reduction)
- ・プロジェクト種別 :間伐促進型プロジェクト
- ・排出削減利用量 :700t- CO₂ 加古川工場(加古川市八幡町)
- ・管理ナンバー :B01AAS1



森林カーボンオフセットサービス
利用証明書



森林整備による間伐材で
「ひのきのコースター」製作



森林カーボンオフセットサービス
利用証明マーク
※利用証明マークの番号は、
「管理ナンバー」です

◆「森林カーボン・オフセットサービス」のながれ

- 1.環境省オフセット・クレジット(J-VER)制度※1を活用し、CO₂吸収量を森林組合連合会および森林組合が調査、クレジット化したものを、株式会社日本オフセットデザイン創研が委託を受けてサービス提供します。
- 2.森林カーボンオフセット利用サービスの期間は限定されており、転売できません。
- 3.森林カーボンオフセットで利用される環境省オフセット・クレジット(J-VER)制度の森林吸収系ポジティブリスト・方法論によるプロジェクトは、京都議定書で定められた森林吸収 3.8%を支援する位置づけとなります。

i 間伐とは、混みあった森林から曲がったり弱ったりしているスギやヒノキなどの針葉樹を抜き切り、木の成長にあわせてその都度適正本数を保ち、木と土壌を保全する森林整備のこと。間伐を実施することで、森林の密度が調整され、木々は健全に生育する。